

令和 2 年 6 月 30 日現在

機関番号：32514  
 研究種目：基盤研究(C) (一般)  
 研究期間：2017～2019  
 課題番号：17K02783  
 研究課題名(和文) 式亭三馬の蔵書研究 三馬の言語描写との関係から

研究課題名(英文) Study of Shikitei Sanba Library:

研究代表者

長崎 靖子 (Nagasaki, Yasuko)

川村学園女子大学・文学部・教授

研究者番号：60419794

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では式亭三馬の蔵書(以降三馬蔵書印書)を、三馬の著作に見る言語描写との関係から考察した。調査した三馬蔵書印書は24機関259冊である。その中で今回は三馬の著作に使用されている「センボウ」と「唐話」に関わる資料を中心に調査を進め、三馬の著作に見る「センボウ」や「唐話」に影響したと考えられる書を洗い出した。また、三馬自筆の『雑記』の仮名文字調査から三馬が濁音専用仮名を多用していることを発見した。この結果と三馬蔵書印書に記された識語の内容、さらに三馬の著作に見る国学関係の記述から、三馬の仮名文字遣いが国学の影響を受けている可能性を実証的に示した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

式亭三馬の著作は江戸語の口語資料として広く使用されてきた。しかし、三馬の言語描写がいかなる書物から影響を受けていたかという視点からの研究は、ほとんどなされていないのが現状である。書肆であった三馬は多くの書を所蔵していたと考えられるが、現在のところ三馬の蔵書目録は発見されておらず、その蔵書印から三馬所蔵の書が知られるのみである。従って、本研究の三馬蔵書印書の調査から、259冊の三馬の蔵書が発見されたことは画期的である。またその資料に、三馬の言語描写に関わる書籍が複数見られ、これらを調査・分析することで三馬の言語描写との関連を導き出したことは、三馬の言語研究上、大いに意義のあることと考える。

研究成果の概要(英文)：In this study, we considered the collection of Shikitei Sanba (books with Sanba collection stamp) in relation to the linguistic depiction seen in the work of Sanba. The number of books with Sanba collection stamp investigated was 259 for 24 institutions. Among them, this time we conducted a survey centering on the materials related to "Senbou" (Joruri's secret word) and "Towa" (Chinese speech) used in the work of Sanba, and identified the books that had an influence on the work of Sanba. In addition, it was discovered that Sanba uses a lot of Kana that exclusively indicates dakuan (a syllable with a voiced consonant) in "Zakki" (Miscellaneous notes by Sanba). From this result, writing the books by Sanba, and the description of "Kokugaku" (national studies in Edo era) related to Sanba's work, it is empirically shown that the use of a set of Kana characters is influenced by "Kokugaku".

研究分野：日本語学 日本語史

キーワード：三馬蔵書印書 三馬自筆の識語 センボウ 唐話 国学 濁音専用仮名 三馬自筆『雑記』

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 申請者は「式亭三馬の言語描写における三馬蔵書の影響 (挑戦的萌芽研究 H25.4 - 28.3)」で、国会図書館所蔵の三馬の蔵書印が押された書 (以降三馬蔵書印書) 93 冊 (その後の調査で 96 冊) の調査を進め、三馬の言語描写と蔵書の関係を探った。

まず、国会図書館所蔵の三馬蔵書印書に関しては、蔵書印の種類、蔵書のジャンルの種類、その内容等の調査・分析を行い、この成果を「式亭三馬の蔵書 国会図書館所蔵三馬蔵書印書を中心に」(『川村学園女子大学大学院 研究年報』第 4 号 2015) で報告した。本論考では、三馬蔵書の報告の他、三馬自筆の識語がある三馬蔵書印書 18 点を確認し、三馬自筆の平仮名用字法の特徴も合わせて報告した。この論考に加え、三馬の著作や交友関係を探る資料として扱った『式亭雑記』を、三馬自筆の平仮名用字法の資料としても活用し、その成果を『大東急記念文庫所蔵『雑記』 影印と翻刻』(2016.10 武蔵野書院刊)「第五章 自筆本『式亭雑記』の言語資料としての可能性」で報告した。

(2) また、国会図書館の三馬蔵書印書の調査の中で、三馬と唐話の関係を示す書『五色賦』を発見した。『五色賦』の後半部分には岡島冠山の『唐話纂要』から抜粋された唐話が記述されている。この『五色賦』の唐話の脇には唐音が片仮名で記されており、その中には「サ°」や「テ°」「モ°」等の特殊な半濁音符の表記がみられる。先行研究では、三馬の使用する特殊な半濁音符の表記には唐話の影響が考えられるとしている。今回、三馬蔵書印書『五色賦』の発見により、三馬の半濁音符の表記と唐話資料との接点がさらに深められたことになった。本成果に関しては川村学園女子大学国際日本学研究所主催の研究会 (2015.12 開催) で「式亭三馬の言語描写 三馬蔵書印書の調査から」という題目で口頭発表を行い、さらに「式亭三馬所蔵『五色賦』所収の唐話に関して」(『川村学園女子大学研究紀要』第 26 巻 1 号 (2015.3 刊行) で報告した国会図書館所蔵三馬蔵書印書に唐話関係資料『五色賦』があることを発見し、本書の調査を行い、これを「式亭三馬所蔵『五色賦』所収の唐話に関して」(『川村学園女子大学研究紀要』26 巻 1 号 2015) で報告した。尚、この『五色賦』の調査中、九州大学附属図書館に三馬蔵書印書『雑纂訳解』があることを知った。『雑纂訳解』の内容は、式亭三馬の『浮世床』に引用されており(「第五回中央図書館貴重文物展観目録」九州大学広報委員会編 大学広報 386 1980 参照) 三馬の言語描写と唐話との関係が深いことをさらに確信した。

(3) さらに、三馬蔵書印書の調査中、三馬の著作に記された書名から三馬の言語描写に影響した書を調査する必要性を見出した。三馬著『一人娘二人婿辨訓歌字盡』の「一部の大意」には、梅塙散人著『婦人養草』の書名があり、三馬は著作の大和詞描写に『婦人養草』等の女訓書を参考にした可能性が考えられる。そこで『婦人養草』と『浮世風呂』の大和詞に関し比較調査を進め、『浮世風呂』に見る大和詞『婦人養草』の「和言」との関係から(『川村学園女子大学研究紀要』27 巻 1 号 2016.3) で報告した。

## 2. 研究の目的

(1) 挑戦的萌芽研究では、「1. 「式亭雑記」諸写本の内容を比較検討し、より正確な原本内容を導き出す」「2. 国会図書館所蔵の三馬の蔵書印の種類と蔵書の分類を行う」「3. 三馬著作の言語描写に影響を与えたと考えられる蔵書を抽出する」「4. 抽出した蔵書と三馬の著作との言語を分析し影響関係を明らかにする」という目標を立てた。このうち、1、2 についてはほぼ目標を達成した。しかし、3、4 については、さらに他機関所蔵の三馬蔵書印書の拡大調査の必要があると考え、本研究「式亭三馬の蔵書研究 三馬の言語描写との関係から」(基盤 C H29.4 - R2.3) を行うに至った。

(2) 本研究では、当初以下の内容を研究目的とした。

1. 以下の機関に所蔵されている三馬蔵書印書 139 冊の書誌調査を行い、これに国会図書館の三馬蔵書印書 95 冊 (三馬の著作に印を押したものは除く) を合わせ、三馬蔵書目録を作成する。

東京都立中央図書館 (51 冊) 大東急記念文庫 (27 冊) 東京大学附属図書館霞亭文庫 (8 冊) 東京大学文学部国文学研究室 (2 冊) 早稲田大学図書館 (9 冊) 東京芸術大学図書館 (1 冊) 明治大学図書館 (1 冊) 国文学研究資料館 (1 冊) 東洋文庫 (岩崎文庫) (1 冊) 筑波大学附属図書館 (5 冊) 茨城大学図書館 (1 冊) 専修大学図書館 (1 冊) 京都大学図書館 (1 冊) 大阪大学附属図書館 (1 冊) 大阪府立中之島図書館 (5 冊) 九州大学附属図書館 (1 冊) 名古屋大学附属図書館 (1 冊) 西尾市岩瀬文庫 (15 冊) 東北大学附属図書館狩野文庫 (3 冊) 天理大学図書館 (3 冊) 国際日本文化研究センター (1 冊)

2. 三馬蔵書印書における唐話資料と三馬の著作の言語描写との関係を探る。また片言描写、大和詞の描写に関しても合わせて観察する。

## 3. 研究の方法

(1) 三馬蔵書印書は国文学研究資料館の蔵書印データベースの他、各所蔵機関の蔵書データベース、蔵書目録を使用して三馬蔵書印書を探した。そして、これらの三馬蔵書印書をデ

ータベース化するとともに、特に言語描写と関わる三馬蔵書印書を抽出し、三馬の著作に見る言語描写との比較を行った。

(2)三馬蔵書印書の自筆識語に関しては、随時字母翻刻を行い、三馬の平仮名用字法の研究に利用することとした。

#### 4. 研究の成果

他機関での資料調査により、三馬蔵書印書に浄瑠璃本が多いことが明らかになった。特に大阪府立中之島図書館には、15冊の三馬蔵書印書の浄瑠璃本が見られた。これらの浄瑠璃本の調査から、三馬の著作に頻繁にみられる「センボウ(浄瑠璃の楽屋言葉)」と、同時代のセンボウ資料と考えられる『淡路詞』(大阪大学附属図書館所蔵)との比較を試み、その成果として「式亭三馬の言語描写 センボウを資料として」(『近代語研究』第20集 2018 武蔵野書院)を発表した。これらの浄瑠璃本から初年度は、関東圏の中で、特に東京都立中央図書館の調査を中心に進め、その途中で、新たに都立中央図書館に、三馬蔵書印書2冊を発見した。これにより、都立中央図書館の三馬蔵書印書は53冊になった。また、29年度に計画していた識語の調査を進めるため、関東圏内にある識語の資料の調査に加え、関東圏外で、大阪大学附属図書館、大阪府立中之島図書館、西尾市岩瀬文庫に赴き、調査を進めた。三馬の識語に関しては、自筆の仮名字体の資料とするため、随時字母翻刻を行っている。識語のある書は、現在のところ国会図書館所蔵の21冊を加え72冊あることを確認した。さらに初年度は三馬の言語描写に影響を与えた浄瑠璃本の調査も進めた。その関連から、三馬の著作に頻繁にみられる「センボウ(浄瑠璃の楽屋言葉)」と、同時代のセンボウ資料と考えられる『淡路詞』(大阪大学附属図書館所蔵)との比較を試み、その成果として「式亭三馬の言語描写 センボウを資料として」(『近代語研究』第20集 2018。3 武蔵野書院)、「式亭三馬の言語描写 二 三馬の蔵書に見るセンボウの記述から」(『川村学園女子大学大学院研究年報』第8号 2019.1)を発表した。

また、三馬蔵書印書の中にある唐話関係資料に関しては、国会図書館所蔵の『五色賦』の他、五冊の唐話関係資料の内容を分析し、三馬の唐話能力や著作への影響を観察した。結果として、三馬は白話小説の読解能力があり、また唐話に関する知識もかなりあったことを確認し、これを「式亭三馬の蔵書に見る唐話関係資料に関して」(『近代語研究』第21集 2019.9)で報告した。

さらに三馬蔵書印書を調査する中で、名古屋大学附属図書館が所蔵する『つれづれ草拾遺』に記された三馬の識語から、三馬と国学との関係に興味を抱いた。『つれづれ草拾遺』の末尾には賀茂真淵の跋文が寄せられており、三馬はこの真淵の跋文に対し、敬意を表す識語を記している。この記述を糸口に三馬の著作に見る国学の影響を考察し、三馬の著作の内容に、真淵の『冠辞考』を参考にしたものが多いことを発見した。また真淵の弟子に女性が多かったことから、三馬の著作に女性が国学を学ぶ趣向を取り入れていたのではないかと推測し、これを「式亭三馬の著作に見る国学の趣向」(『式亭三馬の著作に見る国学の趣向』(『川村学園女子大学研究紀要』第31巻第2号 2019.3)で報告した。さらに、『大東急記念文庫所蔵『雑記』影印と翻刻』(2016.10 武蔵野書院刊)「第五章 自筆本『式亭雑記』の言語資料としての可能性」で報告した三馬自筆の仮名字遣いの調査結果を、同時代の大田南畝や柳亭種彦の自筆資料と比較し、仮名字母の種類が多いこと、また他の著者には見られない濁音専用仮名の使用が特徴的であることを明らかにした。当時は国学が流行し、国学者の中に濁点よりむしろ濁音専用仮名を用いることを推奨している者もいた。三馬は同時代の戯作者と比較し、自筆の文章に濁音専用仮名を多用している。申請者は、この事実が三馬の国学に対する関心の深さを示すものであると考え、これを「式亭三馬の仮名字遣い『式亭雑記』仮名字調査から」(『会誌』第36号 2019.10)で報告した。

以上、本研究では、他機関に所蔵されている三馬蔵書印書中のセンボウ関係資料、唐話関係資料、国学関係資料の調査分析から、三馬の言語描写の源となった資料を導き出した。これにより、三馬の言語描写の背景となる書を発見し、三馬の著作の源となる学びの一端を明らかにしたことは、三馬の言語研究を行う上で意義のあることと考える。

本研究中、当初の235冊(国会図書館所蔵本95冊含む)から、さらに24冊の三馬蔵書印書を発見し、現在259冊の三馬蔵書印書を確認している(表1参照)。本数値の中には大英図書館所蔵等、海外の所蔵本も含まれている。その中の1冊は、国文学研究資料館でマイクロフィルム化されており確認しているが、その他はコーニツキー・欧州所在日本古書総合目録データベースで名称を確認しているだけなので、機会を見つけ調査を行いたい。また、今回は当初予定していた片言や大和言葉に関連する書の発見には至らなかったが、これらの語彙に関連する資料に関しては、三馬の著作に見られる書名を手掛かりに、今後も調査を続けていきたい。さらに、本研究の目標の一つとして掲げた三馬蔵書目録は、現在制作中であり、近々書面にて報告したいと考えている。

表1 各機関の三馬蔵書印書の数（三馬自筆、また著作に印を押したものは除く）

所蔵機関	所蔵数	所蔵機関	所蔵数
国立国会図書館	95	東京大学駒場図書館	1
東京都立中央図書館	54	東京芸術大学図書館	1
大東急記念文庫	28	明治大学図書館	1
西尾市岩瀬文庫	15	専修大学図書館	1
大阪府立中之島図書館	14	茨城大学図書館	1
早稲田大学図書館	9	名古屋大学附属図書館	1
東京大学附属図書館（霞亭文庫）	8	京都大学図書館	1
東北大学附属図書館（狩野文庫）	8	大阪大学附属図書館	1
筑波大学附属図書館	6	九州大学附属図書館	1
天理大学附属図書館	3	国文学研究資料館	1
名古屋市蓬左文庫	2	東洋文庫	1
東京大学文学部国文学研究室	2	国際日本文化研究センター	1
大英図書館	2	白鹿記念酒造博物館	1

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計7件（うち査読付論文 0件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 長崎靖子	4. 巻 21
2. 論文標題 式亭三馬の蔵書に見る唐話関係資料に関して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 近代語研究	6. 最初と最後の頁 207-224
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長崎靖子	4. 巻 36
2. 論文標題 式亭三馬の仮名文字遣い 『式亭雑記』仮名文字調査から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 会誌	6. 最初と最後の頁 9-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長崎靖子	4. 巻 第21集
2. 論文標題 式亭三馬の蔵書に見る唐話関係資料に関して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 近代語研究	6. 最初と最後の頁 207-224
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長崎靖子	4. 巻 第36号
2. 論文標題 式亭三馬の仮名文字遣い 『式亭雑記』の仮名文字調査から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 会誌	6. 最初と最後の頁 9-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長崎靖子	4. 巻 第8号
2. 論文標題 式亭三馬の言語描写二 三馬の蔵書に見るセンボウの記述から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 川村学園女子大学大学院研究年報	6. 最初と最後の頁 1-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長崎靖子	4. 巻 第30巻第1号
2. 論文標題 式亭三馬の著作に見る国学の趣向	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 川村学園女子大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 長崎靖子	4. 巻 20
2. 論文標題 式亭三馬の言語描写 センボウを資料として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 近代語研究	6. 最初と最後の頁 261-278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----